

# 全国一斉集中労働相談

連合は12月9日(火)、10日(水)に「全国一斉集中労働相談ホットライン」を実施しました。熊本では連合熊本に相談所を設け、ライフサポートセンターくまもとの相談員が対応しました。

今回は「過労死防止月間」の取り組みの一環として、スローガン「STOP! 長時間労働～あなたの働き方は大丈夫?～」のもとに実施されました。

連合および連合熊本のホームページ

やSNSでの周知に加え、NHKでも紹介された結果、熊本では10件の相談が寄せられました。全国的には、長時間労働・賃金不払い・ハラスメントに関する相談が多く寄せられています。

今回の全国一斉集中労働相談は2月に予定されています。集中期間以外でも相談を受け付けていますので、仕事や生活でお悩みの方はお気軽にご相談ください。

(電話：0120-154-052)

メールでの相談も可能です。



連絡を受ける緒方相談員と猿渡相談員



RENGO KUMAMOTO

新たな社会をめざして

連合熊本

# 3811 情報

発行 日本労働組合総連合会

熊本県連合会

発行・編集責任者 徳富 幸平

編集者 東 郷史

〒862-0976

熊本市中央区九品寺1丁目17-9

☎(096)375-3811 FAX (096)375-3017

印刷所 株式会社 チューイン

2026年1月22日発行 No. 398

## JILAF 招聘事業

連合熊本は、12月15日(月)・16日(火)の2日間、JILAF (国際労働財団) ユーラシアチームを受け入れました。初日はポリテクセンター荒尾にて施設見学や職業訓練の様子を視察し、その後ジャパンマリンユナイテッド有明工場へ移動して、施設見学およびジャパンマリンユナイテッド有明労働組合との意見交換を行いました。



ポリテクセンター荒尾での集合写真

2日目は城彩苑にて、連合熊本の副会長を含むメンバーとの意見交換を実施しました。グローバル化が進展する国際社会において、労働運動には世界の労働者との連帯や相互理解が求められています。意見交換では、熊本の雇用状況や地方連合会が果たす役割、そして具体的な取り組みについて、活発な議論が交わされました。



意見交換会の様子

### JILAF(国際労働財団)って何?

1989年に連合によって設立されたJILAF(国際労働財団)は、労働分野における国際交流と協力を推進するNGO(非政府組織)・NPO(非営利団体)です。

各国の労働運動の強化・発展、健全な社会・経済開発に貢献するとともに、各国との友好関係の増進にも寄与しています。



意見交換会後の集合写真

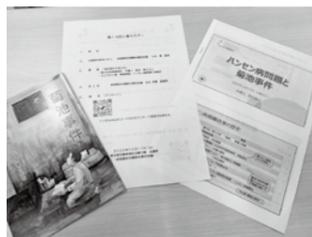
## 第19回人権セミナー

部落解放共闘熊本県会議(山本寛議長)は12月17日(水)労働者福祉会館にて、第19回人権セミナー「ハンセン病問題と菊池事件」を開催されました。

菜の花法律事務所の国宗直子氏を講師に迎え、ハンセン病隔離政策の歴史や、菊池事件の経緯と問題点について解説していただきました。

当時のハンセン病に対する社会的な認識、戦後医療が発展したにもかかわらず隔離政策が継続し、偏見と差別が残ったこと、そして菊池事件が身近で起きたにもかかわらず客観的証拠が乏しいことなど、詳細にご説明いただきました。

現在、再審請求が行われており、1月下旬に熊本地裁の判断が示される予定です。



講義資料と菊池事件のパンフレット



講師の国宗直子弁護士

### 編集後記

新しい年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今号の制作を進めながら、いよいよ春闘が始まる季節になったことを実感しています。今年も物価高や賃金、働き方、自然災害、世界情勢の不安定さなど、働く仲間の生活に直結する課題が山積しています。

一人ひとりの思いや現場の声が、より良い職場づくりの原動力になります。皆さんと共に歩み、確かな前進を積み重ねていけるよう、引き続き力を尽くしてまいります。

連合熊本として、日々の活動や取り組みを分かりやすくお伝えし、労働運動をさらに前へと進めていく一年にしたいと考えています。変化の大きい時代ではありますが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## Topics RENGOKUMAMOTO

### お知らせ

はたらきやすい、ともいふ。

安心して働ける雇用をすべての人に! ~みんなの力で職場を改善しよう~

全国一斉集中労働相談ホットライン

2026.2.17(日)~18(日) 11:00-18:00

☎0120-154-052 地域の連合会に異なります

労働相談ホットライン

☎0120-154-052

なんでも労働相談ホットラインは連合で受付しています。

### 今後の主なスケジュール

- 1月24日 「在日米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の抜本的見直しを実現する日出生台集会」
- 2月4日 2026年度労使懇話会セミナー・懇親会
- 6日 連合熊本2026春季生活闘争開始宣言集会
- 7日 連合熊本 第1回 中小地場共闘センター会議
- 〃 連合熊本 中小地場労組学習会
- 9日~12日 連合熊本キャラバン行動(肥後有明)
- 12日 連合熊本第4回執行委員会

## 2026年 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 会長 芳野 友子

あけましておめでとうございます。

日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

新年を迎え、新たな4半世紀がスタートしました。21世紀はグローバル化の時代と期待され、様々な分野でグローバル化が進展しました。経済は、24時間365日、途絶えることなく国境を超えた活発な活動が行われるようになり、第4次産業革命がそれに拍車を掛けています。世の中の動きは常にデータとして捕捉され、新たな価値を発掘することに繋がる一方、効率性を極限まで追求するような社会になりつつあります。

その結果、経済的格差の拡大が発生し、中間層の縮減、貧困層の拡大は世界的に大きな問題となっており、負のグローバル化も進展しました。また、環境問題も、世界各地で深刻な状況が継続し、人々の生命を脅かしています。

次の4半世紀でどのような世界をつくっていくのか、その手綱は私たち一人ひとりの手にあります。今こそ、連合ビジョンをジブングトとして、私たちが自らこの世界をより良いものにしていくとの決意を新たに、その一歩を踏み出しましょう。

本年が皆さまにとってチャレンジングで、実り多い一年となりますことを祈念いたします。



## 2026年 新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 熊本県連合会 会長 山本 寛

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、連合熊本の活動に対しまして、大変、ご協力をいただきました。あらためまして厚く御礼申し上げます。

2026年のスタートにあたり、連合熊本として取り組むべき、いくつかの課題について申し上げごあいさつと致します。

その一つは、2026春季生活闘争です。

私たち、雇用労働者の実質賃金は、下がりつづけています。

2026春季生活闘争における、私たち連合の役割は、昨今の物価高に負けない賃上げを実現し、賃上げの「すそ野」を、中小企業や労働組合のない企業にまで広げ、社会全体の「底上げ・底支え・格差是正」を図っていくことにあります。

連合は、定期昇給込みで5%以上、中小企業については格差是正分を上乗せした6%。さらに有期・パート等労働者には7%、という賃上げ目標を設定しました。これは、企業規模間格差・雇用形態間格差の是正をめざしたものです。「賃上げを起点とした『成長と分配の好循環』へのステージ転換を図り、消費と経済が活性化していくサイクルに変え、実質賃金の持続的な上昇を伴う「賃上げノルム」としていく、このことも重要なテーマになります。

30年つづいてきたコストカット型経済は限界を迎えています。雇用労働者の生活防衛と改善、さらには日本経済全体の活性化のため、積極的に2026春季生活闘争を取り組みたいと思います。

その二つは、組織化・組織拡大と労働政策についてです。「ライフサポートセンター熊本」において労働相談に対応していますが、それこそ、解雇・雇用止め、賃金未払い、いじめやハラスメントなどさまざまですが、そのほとんどが、労働組合がない企業や団体にお勤めの方からの相談です。

理不尽なこと、不条理なことがあったとしても、やはり、たった一人で企業に「立ち向かい」、そして、その企業や社会そのものを「変えていく」、これは、なかなかできることではありません。

そういう意味では、いかに世の中の価値観やニーズが変わったとしても、いつの時代においても、私たち労働組合の役割、存在意義、その価値は、極めて大きいものがあると思っています。

これまでの労働分野に対する規制緩和や、雇用形態の多様化なども相まって、近年、労働組合の組織率は低下をしていますが、私たち連合が、あるいは、労働組合が、「働く者の代表」として運動を進めていくためには、より多くの方々が労働組合に集っていただくことが重要だと考えています。

そして現在、労働時間規制の緩和を含めた「働き方改革」の見直し、労働基準法改正(案)が検討されています。雇用労働者にとって、大変危険な動きです。いま、あらためて、連合として労働政策面での取り組みが重要な時期であると考えます。

私たち連合は、労働組合がない企業で働いている仲間のためにも、また、一人で悩み苦しんでいる仲間のためにも、組織化・組織拡大に取り組み、そして連合運動の輪を広げていきたいと思ひます。

その他にも、人権・平和・環境・教育など、重要な課題に取り組むこととしていますが、特に、熊本地震から10年の節目の年ともなりますので、あらためて、防災・減災を意識した1年にしていきたいと考えていますので、連合運動に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びとなりますが、今年1年が皆さまにとりまして、すばらしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

# 2026年新春旗開き・賀詞交歓会に 200人が集結



山本寛 連合熊本会長



木村敬 熊本県知事



大西一史 熊本市長



金谷雅也 労働局局长

連合熊本と熊本地協は、2026年1月7日(水)、KKRホテル熊本において、ご来賓の方々や労協協事業体、構成組織および地域協議会から約200名のご出席をいただき、「2026新春旗開き・賀詞交歓会」を開催しました。

会は泉秀明・熊本地協事務局長（JP労組）の進行で進められ、冒頭、主催者を代表して山本寛・連合熊本会長（情報労連）が挨拶し、「2026春季生活闘争において、実質賃金が下がり続ける中、昨今の物価高に負けない賃上げを実現し、賃上げの裾野を広げ社会全体の底上げを図る。あわせて格差是正に取り組むことが重要である」「労働組合の役割・存在意義・価値はますます重要になっており、組織化に取り組む」「長時間労働や労働相談など、働くすべての人に影響を与える労働政策面での取り組みを強化していく必要がある」と述べました。

続いて、多くの来賓を代表し、木村敬・熊本県知事、大西一史・熊本市長、金谷雅也・熊本労働局局长よりご挨拶をいただきました。

懇親会は、森田康昭・熊本地協議長（自治労）の乾杯でスタートしました。

その後、2026年の地方選挙に対し連合熊本が推薦した天草市の澤井一富現市議と生嶋祥子氏、菊池市の出口慎太郎氏、宇城市の原田祐作現市議、美里町の坂田竜義現市議、および立憲民主党熊本県連顧問の鎌田聡氏より決意表明があり、会場全体で大きな拍手が送られました。

最後に、徳本佳大・青年委員長（JAM）の閉会挨拶をもって、「2026新春旗開き・賀詞交歓会」は盛会のうちに幕を閉じました。



森田康昭 熊本地協議長



徳本佳大 青年委員長



旗開き会場の様子

## 最低賃金周知・広報活動

連合熊本は12月8日(月)、熊本駅前最低賃金引き上げの周知活動としてティッシュ配りを実施しました。熊本労働局の職員や熊本最低賃金審議会の委員、県社会保険労務士会も協力し、1月1日から最低賃金が1034円に引き上げられることを記したカレンダーを通勤・通学客に配布しました。

最低賃金は年齢に関係なく、パートや学生アルバイトを含めすべての労働者が対象です。今回の取り組みは、改定内容を広く知らせ、働く人々の生活を守る重要性を訴えるものであり、地域社会全体で労働環境の改善を進めていく機運を高めています。



最低賃金周知・広報アピール



最低賃金周知・広報活動



最低賃金周知・広報活動メンバー

## 仲間とともに、心ひとつに!

### 第32回熊退連定期総会

熊退連は、第32回定期総会を12月5日(金)九州ろうきん駅前支店会議室で開催し、代議員63名を含む89名が出席しました。工藤副会長の司会で開会し、議長には久木田代議員、喜野代議員が選出されました。

冒頭、米岡新一会長よりあいさつがあり、続いて来賓として日本退職者連合の野田那智子会長から、医療費負担の増大による暮らしへの影響や物価高騰に伴う生活不安の広がり、健軍駐屯地におけるミサイル配備の問題点などを訴える心のこもったあいさつがありました。

さらに、連合熊本の山本寛会長をはじめ、福祉事業体や推薦議員団の方々からもあいさつをいただきました。

その後、猪塚事務局長より2024年度活動報告および会計監査報告があり、2025年度活動計画および予算についての提案が行われ、満場一致で承認されました。

最後に、米岡会長の団結がんばろうで総会を締めくくりました。



日本退職者連合 野田那智子会長挨拶

役職名	氏名(敬称略)	所属組織名	
会長	米岡 新一	九電ユニオン友の会	
副会長	谷川 忠光	NTT労組退職者の会	
	工藤 征子	熊本県退職教員等連絡協議会	
	河瀬 和典	全日本自治体退職者会	
事務局長	猪塚 雄二	NTT労組退職者の会	
副事務局長	吉永 徹男	JR九州労組退職者連絡会	新任
	上田 淳	JP労組熊本県連退職者の会	新任



団結ガンバロー

## 若手がつなぐ未来への交流

### 第36回青年委員会総会

連合熊本青年委員会は、第36回定期総会を12月6日(土)労働者福祉会館会議室で開催し、代議員29名を含め40名が出席しました。渡邊代議員（自動車総連）を議長に選出後、中路委員長（JP労組）が1年間の総括を踏まえてのあいさつ、続いて連合熊本山本会長にごあいさついただきました。竹原事務局長（電機連合）より2025年度の活動報告、2026年度活動方針、役員体制を提案され全ての議案は満場

一致で可決されました。新旧役員によるあいさつのおと、中路副委員長による団結ガンバローで総会は終了しました。今年も一人でも多く青年委員会の活動に参画できるよう意識して取り組んでいきます。加えて、次世代を担う若手組合員が主体的に意見を発信できる場を広げ、交流や研修を通じて仲間同士の絆を深めながら、より活発で魅力ある委員会づくりを目指していきます。



総会終了後の集合写真



団結ガンバロー

役職名	氏名(敬称略)	所属組織名	
委員長	徳本 佳大	JAM	新任
副委員長	上田 真英	交通労連	新任
	中村 旭	JR連合	新任
	中路 盛智	JP労組	新任
事務局長	猿渡 太一	全労金	新任
副事務局長	藤山 雅也	紙パ連合	新任
	樋口 亮介	UAゼンセン	新任
	馬原 政展	自動車総連	新任
	高野 隼	自治労	新任
	松本 剛	電機連合	新任
	安武佑一郎	電力総連	新任
	北島孝一郎	情報労連	新任
	園田 直哉	国公連合	新任

## 学びと交流で深まる絆

### 第36回女性委員会総会・学習会

連合熊本女性委員会は、第36回定期総会を12月13日(土)労働者福祉会館会議室で開催し、代議員27名を含め52名が出席しました。植江田代議員（情報労連）を議長に選出後、乗富委員長（自治労）の主催者あいさつのおと、連合熊本山本会長よりごあいさつをいただき、女性の社会参画や働く仲間の連帯の重要性について力強いメッセージが寄せられました。続いて、

大森事務局長（電力総連）から2025年度の活動報告、2026年度活動方針、役員体制の提案があり、すべての議案は満場一致で可決されました。総会終了後には、ハーベストコーヒーの山口貴志講師によるオーガニックコーヒー講座が開催されました。家庭でも実践できる美味しい淹れ方のコツなどを学び、参加者は香り豊かなコーヒーを楽しみながら交流を深めました。



学習会後の集合写真



淹れ方についての説明

役職名	氏名(敬称略)	所属組織名	
委員長			
副委員長	中山 美宇	日教組	再任
事務局長	大森 千晶	電力総連	再任
事務局長次長	山下 百合	運輸労連	再任
	木下 衣美	自治労	新任
	平田 美紀	自治労	新任
	嶋本 成美	自動車総連	再任
	井手上芳子	JP労組	新任
	尾崎ルリ子	電機連合	新任
	山川 寛華	UAゼンセン	再任
	儀藤 藍	情報労連	再任
	古庄 加奈	JAM	新任
	新堀 恵里	全労金	再任